



S-PULSE

IMPACT REPORT

2025



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

目次 Table of Contents

第1章 エスパルスが描く未来

- 01- イントロダクション
- 02- 活動サマリ
- 03- 本レポートの作成背景
- 04- エスパルスの基本理念・ミッション
- 05- 価値創造ストーリー
- 06- ホームタウン・ファミリータウン概要

第2章 ミッション実現のための歩み

- 01- エスパルスのサステナビリティ活動 基本方針
- 02- エスパルスが持つ強み
- 03- サステナビリティ活動のこれまでの歩み
- 04- サステナビリティ活動 (SDGs ACTION) が取り組む7つのテーマ
- 05- 気候アクションへ込めた想い
- 06- 気候変動：エスパルス エコチャレンジ TO 2050
- 07- 気候変動：エスパルス エコチャレンジの歴史
- 08- 気候変動：テーマ実現のためのロードマップ

第3章 7つのテーマの取り組みと共創事例

- 01- 気候変動：CHALLENGE in STADIUM
- 02- 気候変動：CHALLENGE with SUPPORTER
- 03- 気候変動：CHALLENGE with PARTNER
- 04- 社会価値算定：SDGs環境教育プログラム
- 05- 気候変動：CHALLENGE OURSELVES
- 06- 健康と福祉：事例紹介
- 07- 社会価値算定：朝活！健康プログラム
- 08- 教育：事例紹介
- 09- 社会価値算定：エスプラス
- 10- ジェンダー：事例紹介
- 11- まちづくり：事例紹介
- 12- 公平・公正：事例紹介
- 13- エスパルスと共にサステナビリティを推進するパートナー

第4章 未来に向けて

- 01- これまでの振り返りと来シーズンの展望
- 02- 未来へのメッセージ



第1章

エスパルスが描く未来

イントロダクション 山室社長メッセージ ～オレンジの鼓動が未来を築く～

これまでの歩み

清水エスパルスは、Jリーグ・オリジナル10で唯一の市民クラブとして誕生して以降、97年のクラブ消滅の危機をはじめ、どんな苦しい時期もファン・サポーター、パートナー企業、そして地域の皆さまに支えられ、ともに歩んできました。サステナビリティ活動は、これまでクラブを育ててくれた地域への恩返しであるとともに、クラブを通じて人とまちをつなぐ活動です。「このまちにエスパルスがあってよかった」と一人でも多くの市民に思ってもらえるよう、共に未来を築いていくことがクラブの使命であると考えています。

エスパルスを取り巻く社会の変化や課題

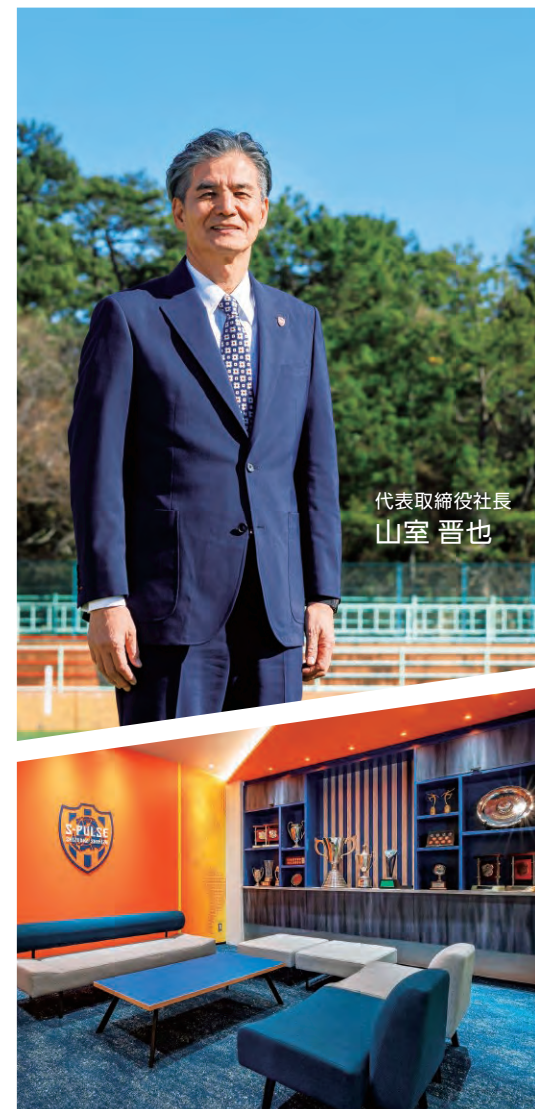
一方で、私たちを取り巻く社会は今、かつてない変化の渦中にあります。気候変動の深刻化、人口減少・少子高齢化、地域経済の縮小…。暮らしやコミュニティの姿は急速に変わり続け、“地域がどう未来をつくり、どう持続していくのか”が強く問われています。

エスパルスが提供できる価値

そのような環境変化の中、エスパルスはJリーグクラブとして初めて、優先的に取り組むSDGs目標とロゴ・キャッチフレーズを策定し、「S-PULSE SDGs ACTION」に取り組むなど、サッカー界におけるサステナビリティ / ホームタウン活動を牽引する存在として、さまざまな施策を展開してきました。クラブの強みである発信力や影響力、これまでの取り組みを通じて培ってきた知見・ノウハウを活かし、これまで以上に地域の皆さまとの連携を強め「地域課題の解決」に繋げることが、今まさにクラブに求められています。

レポートの作成目的

本レポートは、エスパルスのこれまでの活動とその成果を可視化し、全てのステークホルダーの皆さまと“対話”を深めることを目的としています。エスパルスがどんな想いで、どんな課題に挑み、どんな未来を目指すのか。このレポートが、皆さまと未来を語り合うきっかけとなり、地域とクラブの新たな一歩をともに育む力となることを心から願っています。



代表取締役社長
山室 晋也

活動サマリ

エスパルスが描く未来

- 清水エスパルスは「わかちあう夢と感動と誇り」をクラブの基本理念に掲げ、「市民が作り育て、地域の発展とスポーツ文化の振興に貢献しサッカーを愛する少年たちに夢を与える、世界レベルのプロサッカーチーム」を目指しています。
- 価値創造ストーリーにおいても、「地域・社会活動」は、理念実現のための重要な要素として、「サッカー」・「ビジネス」とともに位置付けています。

ミッション実現のための歩み

- サステナビリティ活動の目指す姿は「エスパルスはスポーツの力で、持続可能な社会・経済・環境を未来に繋げる」と定めており、これを実現するために「S-PULSE SDGs ACTION」を推進しています。
- 「S-PULSE SDGs ACTION」では優先テーマを7つ選定し、特に気候変動のテーマについては、「エスパルス エコチャレンジ」の実施など、重点的に取り組みを行っています。
- 今回のレポート発行にあたっては、気候変動の長期目標「2050年までにCO₂実質排出ゼロ達成」に向けたロードマップを策定いたしました。



活動サマリ

7つのテーマの取り組みと共創事例

	主な定量的インパクト (延べ数)		主な取り組み事例
	活動実施回数	エスパルスファミリー数	
1 気候変動	50回	4,633人	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境出前授業 ■ 雑紙リサイクル活動 ■ 校庭・園庭の芝生化 ■ デコ活啓発
2 健康と福祉	958回	27,335人	<ul style="list-style-type: none"> ■ 巡回スポーツ教室 ■ 朝活!健康プログラム ■ ハッピーシニアプロジェクト ■ Be サポーターズ!
3 教育	799回	5,323人	<ul style="list-style-type: none"> ■ 下敷き・クリアファイル贈呈 ■ ホームタウンの学生との連携 ■ キャリア授業『エスプラス』 ■ 選手・スタッフによる学校訪問
4 ジェンダー	46回	3,156人	<ul style="list-style-type: none"> ■ 女子サッカーの普及 ■ ダンススクール運営 ■ 女性コーチの採用 ■ オレンジウェーブの活躍を推進
5 まちづくり	138回	19,038人 PULCLEを含む 180,647人	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームタウン / ファミリータウンのシティプロモーション ■ 防災への取り組み ■ 多文化共生への取り組み ■ シェアサイクル PULCLE
6 公平・公正	98回	2,944人	<ul style="list-style-type: none"> ■ エスパルス福祉基金 ■ 人権啓発活動 ■ ノーマライゼーションの普及 ■ 障がい者サッカー支援
7 パートナーシップ	757回	エスパルスファミリー企業数 573社	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業版ふるさと納税の活用 ■ 行政、企業等と連携した様々なサステナビリティ活動

振り返りと今後の展望

- 2025年度は、ホームタウンである静岡市と連携した環境教育プログラムや、パートナー企業の協力によるリサイクル活動など、これまで行ってきた取り組みを、一つひとつ着実に進めるとともに、クラブ関連全施設を100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替えるなどといった新たな取り組みにも挑戦いたしました。
- 2026年度においても、従来から継続して行う取り組みについては、質の向上を図るとともに、時代変化に応じた社会課題解決に取り組んでいきたいと考えています。そして、ホームタウンからファミリータウンへ活動を拡げ、目標とするエスパルスファミリー数150万人以上の達成を目指してまいります。

本レポートの作成背景

発行の背景

近年、サッカーをはじめとするスポーツ分野において、スポーツクラブが創出する社会的価値への関心が一層高まっています。こうした外部環境の変化を踏まえ、クラブ創設以来「いつも地域とともにありたい」という理念のもと、地域との交流を積極的に進めてきたエスパルスでは、自らの活動がもたらす社会的インパクトを体系的に整理し、発信していくことの重要性を強く認識しています。その思いから、本レポートの作成に至りました。

発行の目的

本レポートでは、サステナビリティや地域連携の取り組みについて、社会的インパクトのみならず、その背景やクラブが目指す未来の姿とお伝えすることで、パートナー企業や行政・自治体、ファン・サポーターなど、さまざまなステークホルダーの皆さまにエスパルスの想いをより深く理解していただき、共感と共創の輪を広げていくことを作成の目的としています。

スコープ(対象期間・内容)

本レポートでは、主に2025年度(2025年2月～2026年1月)の活動を対象としていますが、初めての発行となる今回は、これまで継続して行ってきた取り組みも一部含めて紹介しています。内容は、クラブが掲げる「S-PULSE SDGs ACTION」における7つの重点テーマを軸に構成し、現在エスパルスおよびJリーグが特に推進するテーマである気候変動について、より重点的に扱っています。

すべてのステークホルダーとの“対話”を広げるきっかけとして

このレポートは、ファン・サポーター、パートナー企業、行政、教育機関、クラブスタッフ・関係者等、多様なステークホルダーの皆さまと信頼に基づく“対話”を重ねていくためのものです。より良い社会とクラブの未来を描いていくために、皆さまとともに未来に対する答えを探していきたいと考えています。

エスパルスの基本理念・ミッション

わかちあう夢と感動と誇り

- 1 エスパルスは、スポーツを愛する人々に支えられる地域のシンボルとして、夢を創造しつづけます
- 2 エスパルスは、サッカーを通じて多くの人々と感動をわかちあい、地域スポーツ文化の発展に寄与します
- 3 エスパルスは、正々堂々と情熱をもって戦い、地域の誇りとなる最強のチームを目指します

MISSION エスパルスの目標像

市民が作り育て、地域の発展とスポーツ文化の振興に貢献し
サッカーを愛する少年たちに夢を与える、
世界レベルのプロサッカーチーム

価値創造ストーリー

清水エスパルスの価値創造ストーリー

「日本最高リーグのトップチーム(オリジナル10・ホームグロウン・育成力)」や「地域へのサッカーの浸透度の高さ(地域住民の生活に密着)」、「清水におけるレガシー(歴史・過去からの繋がり)」といった強みを資本として、地域のシンボルとなるサッカークラブとして、地域住民に夢と感動と誇りを与え、地域の発展とスポーツ文化の振興へ貢献するなどの価値を創出している。



ホームタウン・ファミリータウン概要

ホームタウン・ファミリータウンにおける活動方針

エスパルスは1991年、静岡県清水市(現 静岡市)をホームタウンとしてJリーグへの加盟承認を受けました。チーム創設以来、ホームタウン静岡市をより盛り上げ、サッカーを通じて地域に笑顔と活力を届けるため、地域の皆さまとともにさまざまな取り組みを重ねてきました。

また、2021年より静岡市周辺市町におけるこれまでの双方の相互協力及び連携をより深化し、さらなる協働により地域の持続可能な発展に資することを目的に、ファミリータウンパートナーシップ協定を締結しています。

これからもエスパルスは、ホームタウン静岡市およびファミリータウン市町における地域スポーツ振興、社会連携による地域課題の解決に取り組み、地域と共に歩むクラブであり続けます。

